



生誕 150 年記念 板谷波山の陶芸

4月16日から6月19日にかけて、しもだて美術館・板谷波山記念館・廣澤美術館の3館合同で、陶芸界初の文化勲章受章者「板谷波山」の生誕150年を記念した展覧会と各種イベントを開催しました。「板谷波山」の魅力を知ってもらうとともに、本市の食・風土・文化を全国に発信することができたこの展覧会と各種イベントには、市外・県外から多くの方が本市を訪れ、大盛況のうちに幕を閉じました。



5/27

観光ボランティアガイドと巡る 波山バスツアー

5/29

波山が生まれ育った下館 ゆかりの地を探索



ちくせい観光ボランティアガイド協会（諏訪光一代表）会員の案内で、展覧会会場3館を巡るバスツアーが行われました。このバスツアーには約50人が参加し、ガイドの説明を受けながら、波山の作品の魅力に触れました。参加者は「波山の作品は、年月が経っても色褪せず、優しい色で美しい」と感心していました。



6/12

波山に挑戦！ 平皿絵付けをデザインしよう

波山が生前に過ごした地を下館・時の会の一木努会長が案内しました。各所で波山のごぼれ話やその土地に残したものなどを説明し、参加者は一木会長の話をメモするなど興味津々でした。



6/12

ちくせい観光ボランティア協会 波山おもてなしプロジェクト

波山の作品を見て、陶芸の奥深さや関心を深めてほしいとの思いで、小中学生を対象にデザインコンクールが行われました。全国から1,731点の応募があり、最優秀賞を受賞した佐藤千紗さんは「素直に嬉しい。波山の花柄を意識してデザインした」とその喜びを話してくれました。



下館南中学校2年
佐藤 千紗 さん



ちくせい観光ボランティアガイド協会が「波山おもてなしプロジェクト」として週に2回、展覧会に訪れた人を路線バスなどで案内しました。参加者は波山の人のなりを聞きながら作品や工具・陶芸窯などを見て回り、波山について理解を深めました。